

雑穀栽培講習会 in こすげ

～エコミュージアム日本村「植物と人々の博物館」づくりをめざして～

いま、健康食ブームの中で、山村の伝統的畑作物であるアワ・キビ・ヒエなどの雑穀への関心が深まっています。(現)上野原市桐原地区は、雑穀・麦などの穀類を中心とした郷土食等によって、長寿のむらとして世界的に知られた所です。今回のスタディツアーでは、その隣村である山梨県小菅村で、雑穀栽培や調理を体験します。また、この企画は、小菅村で進めているエコミュージアム構想の中の「植物と人々の博物館」づくりの一環として行います。

雑穀を見てみたい、食べてみたい、その深い魅力と現状の課題などに興味がある方、入門編としてお気軽にぜひご参加ください。お待ちしております。

キビのお菓子をつくる以外にも、貴重な雑穀料理をはじめとした郷土食を味わい、温泉などの多摩川源流のむらを堪能しましょう。

● 日 時 : 2006年8月28日(月)～29日(火)

開始 13:00 現地終了 13:00 (バス利用の方は学芸大集合 10:00)

● 会 場 : 山梨県北都留郡小菅村(体験農園内の見本畑、村内個人畑、植物と人々の博物館等)

※ 学芸大からバスを出します。希望者は申し込みの際におっしゃってください。

植物と人々の博物館 <http://www.fsifee.u-gakugei.ac.jp/millets/>

【プログラム内容】

- 1) キビの収穫と防鳥ネット掛け
- 2) キビのお菓子づくり
- 3) 「植物と人々の博物館」の民具の整理、展示
- 4) 小菅の湯雑穀メニューの試食

● 参加費 : 一般 実費として 9500 円(教材費+宿泊費+温泉代+保険代)
学生 実費として 4500 円(教材費+宿泊費+保険代、朝食は自炊になります。)

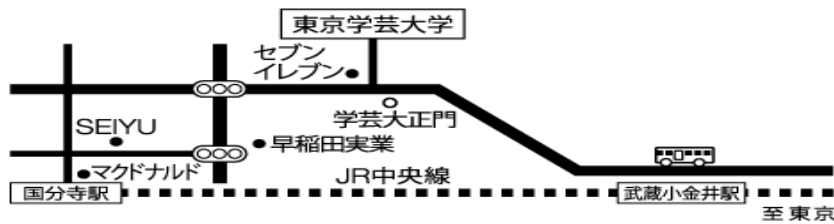
● 定 員 : 30名 *参加には事前の申し込みが必要です(裏面参照)

● 宿泊先 : 一般は「民宿山水館」。学生は現代GPの「博物館連携推進室」。

■「多摩川エコモーション」について

東京学芸大学は、平成17年から「持続可能な社会づくりのための環境学習活動～多摩川バイオリージョンにおけるエコミュージアムの展開～」をテーマに教育プロジェクトを展開しています。これは文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラムに採択されたものです。「多摩川エコモーション」と名付けたこのプロジェクトでは、首都圏の様々な地域で学芸大学の学生が地域の人たちと協力しながら、授業を通じて地域課題の学習活動を行います。環境保全・持続的な社会づくり、そして地域活性化に貢献するのがこの教育プロジェクトのねらいです。今回の公開セミナーはその一環として行われるものです。大学の学生・教職員はじめ、地域のみなさんのご参加をお待ちしています。

● (バス利用の場合)学芸大までのアクセス



1. JR 中央線「武蔵小金井駅」下車、北口改札前より京王バス「小平団地行き」学芸大正門下車
2. JR 中央線「国分寺駅」下車北口より徒歩約 15 分

● (現地集合の場合)「小菅の湯」までのアクセス

路線バス

自家用車

村営バス時刻表: 小菅の湯HP <http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/kosugenoyu/index.htm>

中央高速上野原IC	県道上野原・丹波山線経由で 30km、約 50 分
中央高速八王子IC	青梅市または檜原村経由とも 60km、約 90 分



申し込み用紙

締切日: 8 月 18 日 (金)

FAX : 042-329-7669

* 必要事項をご記入の上、本紙をそのままご送信ください。

お名前	ご所属	ご連絡先 (電話番号または Email)	学芸大バス利用か否か
			利用する・利用しない
			利用する・利用しない
			利用する・利用しない

★Eメールでの申し込みを受け付けております。上記の内容をご記入のうえ、hayaset@u-gakugei.ac.jp 宛にご送信ください。

[お問合せ]

東京学芸大 「多摩川エコモーション」 (現代GP) 事務局 (担当: 井村)

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1 東京学芸大学 環境教育実践施設内

TEL. 042-329-7862/7861 FAX. 042-329-7669 <http://www.fsiffee.u-gakugei.ac.jp/GP/>